

第3期岩美町地域創生総合戦略(案)パブリックコメントについて

分類	該当頁	ご意見数	ご意見(要旨)	町の考え方
全体について	—	1	この戦略案は2024年4月に発表された「人口戦略会議」の「消滅可能性自治体」へ向かうものと思う。成果の出していない第2期戦略の引き続きの戦略・施策であり、また、ほぼ第1期からの成果の出していない施策であり、同じ轍を踏むことになる。	第3期戦略は、基本的な方向性は第2期戦略を引き継ぎ、国や県が先だって策定した総合戦略を踏まえ、デジタル技術の活用により地域の活力を生み出すとともに、人口減少・少子高齢化対策に取り組む内容としています。 なお、第2期戦略で設定した目標人口(国勢調査ベース)を住民基本台帳ベースに換算して比較したところ、ほぼ目標どおりに推移していることから、第2期戦略について一定の成果はあったものと考えております。
	—	1	第2期総合戦略の結果に対する考察・検証がない。これでは第3期総合戦略の方向付けに理論武装ができていない、それ故に戦略・戦術に信憑性が持てなく、目標達成に繋がる有効的な事業展開もできなく、単に実績集計した結果、未達となる公算が大と推測する。 このことを防止するには、第2期総合戦略に記載の「第5. 2. 取組体制とPDCAサイクル」の実践を可視化することが最大の武器と考える。 つまり、内部推進体制の計画とその進捗をその都度公開する。また、岩美町総合戦略推進委員会が行う進捗管理や、KPIの検証とその結果から発する意見や見直しなども公開すると共に、町民の意見も取り入れることが必要。言い換えれば町民参加による推進。 そして、この実践方針・計画・PDCAサイクルを第3期総合戦略に明文化することが総合戦略目標達成の卓効となる。 具体的に言うと、第3期総合戦略の重点戦略を「誰が何時までに何をするか」の当該部署行動計画に落とし込むプロセスを明確にし、内部推進体制や町総合戦略推進委員会での行動計画の進捗管理～検証・考察することにより第3期総合戦略の振り返り時の検証が的確に行えると考えます。	第2期戦略においては、戦略期間終了時の目標数値を基に、年度ごとの目標数値を設定しており、各年度終了時点で結果の考察・検証を行い翌年度以降への取り組みに反映させてまいりました。 第3期戦略の策定にあたり、継続して重要業績評価指標(KPI)を設定している項目につきましては、令和5年度終了時までの達成状況を踏まえて目標値の再設定を行っております。 また、重点業績評価指標(KPI)ごとに責任を持って取り組む部署を決めており、毎年度検証し、議会と岩美町総合戦略推進委員会に報告しています。取り組むべき内容については必要な見直しを行っており、結果は公表しています。
第2. 人口動向	1～4	1	人口動向1. 2. 3の各表の年度数値に違いがあり分かりづらい。	表の横軸の年度表記を修正します。
	5	1	【年齢階級別人口移動】の表は第2期計画時のままであり、直近のデータを基にした内容の更新が必要。	第3期戦略(案)の作成時点では直近のデータがありませんでしたが、その後2020(R2)国勢調査を基にしたデータが国から届いたことから、当該データを基にした内容に修正します。
第4. 第2期戦略の結果	13	1	評価終了年度がまだの為、達成状況の結果のみだが、数値目標とその達成状況の分析が必要。 特に第1～2期にかけての評価分析をPDCAの観点を踏まえ行っただけで、第3期戦略を組み立てることが大切と考えます。 また、その組み立てにあたっては役場内及び町民参加のもとでの議論(ワークショップ)により構築されることを願います。	第2期戦略においては、戦略期間終了時の目標数値を基に、年度ごとの目標数値を設定しており、各年度終了時点で結果の考察・検証を行い翌年度以降への取り組みに反映させてまいりました。 なお、考察・検証の状況については町ホームページに掲載しております。 (URL) https://www.iwami.gr.jp/dd.aspx?menuid=2758#itemid6966
	13	1	第2期総合戦略の結果に対する考察・検証がない。これでは目標達成に繋がる有効な事業展開もできなく、単に実績集計した結果、未達となる公算が大と推測する。	第3期戦略の策定にあたり、継続して重要業績評価指標(KPI)を設定している項目につきましては、令和5年度終了時までの達成状況を踏まえて目標値の再設定を行っております。
第5. 人口目標	14	1	人口目標は第2期戦略の内容と同じだが、社人研は令和5年4月に2020年国勢調査を基にした将来推計人口を公表している。また、2023年に第9回人口移動調査が行われている。これらの結果を踏まえ、第3期戦略では各目標など見直しは必要ないのでしょうか。	国は従来から総合戦略の策定に合わせて、人口の現状及び将来の見通しを示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の策定・改訂を行っています。現行の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に対応した改訂がまだなされていないことと、本町の第2期戦略で設定した目標人口(国勢調査ベース)を住民基本台帳ベースに換算して比較したところ、ほぼ目標どおりに推移していることから、第2期戦略と同様の目標数値を用いています。 なお、第9回人口移動調査については調査結果が都道府県単位となっており、総合戦略の参考とするのは難しいと考えます。

分類	該当頁	ご意見数	ご意見(要旨)	町の考え方
第6. 人口減少対策の基本的方向性	16	1	総合戦略の確実な実践のためには、その戦略・戦術を町民・町職員・各種団体が共有化することが不可欠。あらゆる場で教育や研修を行い、岩美町がワンチームとして強力に推進すること。特に、PDCAサイクルを廻し抜けない、責任体制を明確にした業務推進を行うこと。	本戦略の目標達成に向け、個々の施策は所管課だけでなく全庁をあげて相互に連携・協力のもと推進しています。
第6. 重点戦略	21	1	ここ5年間の統計では社会減少数が減るという良い傾向となっている。目標数値の見直しがあっても良いと考える。	国は従来から総合戦略の策定に合わせて、人口の現状及び将来の見通しを示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の策定・改訂を行っています。現行の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に対応した改訂がまだなされていないことと、本町の第2期戦略で設定した目標人口(国勢調査ベース)を住民基本台帳ベースに換算して比較したところ、ほぼ目標どおりに推移していることから、第2期戦略と同様の目標数値を用いています。
	22	1	重要業績評価指数(KPI)、観光客の入込数及び県外からの転入者数について、コロナの収束等も考え目標を高めに設定してはどうか。	これまでの実績を基に設定しています。今後の状況によっては見直しも検討します。
	-	1	少子化の大きな要因の一つが女性の流出が多いことにある。子育て支援では女性の流出は防げない。去った女性の声は「地域での女性の役割が旧態依然(性別役割分担)、働き甲斐のある仕事を、結婚や出産に干渉しない、地域での役割を押し付けられない」などの意見が多い。男女共同参画計画も岩美町ワンチームでの強力な推進が必要。	本町では、令和3年度から令和7年度を計画期間とする「いわみ虹色プランー岩美町男女共同参画計画」に基づき、男女共同参画の推進に取り組んでいます。
	-	2	日本全体の人口が減少する中で人口増とするためには、熊本県菊陽町が半導体工場を誘致したように、優良企業を誘致する必要がある。	限られた財源の中において、施策の優先順位をつけながら移住定住施策に取り組んでいます。 企業誘致や空き家・空き店舗の活用につきましては、引き続き、県や商工会等関係機関と連携し、また、都市部の県人会等との繋がりを活かして企業ニーズ等の情報収集に努め、財源や場所等の課題を総合的に勘案しつつ、可能性を模索してまいります。
	-	1	岩美の環境の良さを活かし企業移転の売り込み、ワーケーション、コワーキングスペースなどに浦富・東浜の民宿などの空き家を活用する施策	
	-	1	学生は都会に憧れ流出すると言われている。この対策として、鳥取県では都内に移り住んだ場合と、県内に住み続けたケースの生涯収支等をデータで比較した学生向けのパンフレットを作成し、県内の高校などで配布している。出前授業を開き、都会志向の若者に鳥取の良さを売り込んで県外流出を抑える狙いだ。岩美中や岩美高校に、保護者も対象として出前授業することも必要。	県の取組みとして、フィナンシャルプランナーが県内の高校を回り、生涯収支等のデータを比較したパンフレットを使って出前講座を実施しています。なお、これは高校からの希望により実施することです。 岩美町の良さを認識してもらうための取組みとして、岩美中学校では、地域の魅力を学んだり、地域の方を講師としてキャリア形成に係るお話を伺う活動が続けており、保護者の方に対しては出前授業は行っておりませんが、活動を学校だよりで広報したり、活動発表会へ参加できるようにしています。また、岩美高校では、探究学習の中で町内の魅力を発見し掘り下げる活動を行っており、町も活動や広報の支援を行っています。
	-	1	未婚者の80%に結婚願望がある。結婚組数増加のための婚活支援を。	婚活・結婚支援については、県が運営するサポートセンター「えんトリー」の会員登録の助成を行っております。令和4年度には、岩美町で「えんトリー」出張相談会を開催しましたが、参加者が少なかったため、令和5年度以降は開催していません。
	-	1	役場内に婚活サポート担当者を配置(地域より公募又は地域おこし協力隊員募集)	また、鳥取市が設置した「麒麟のまち婚活サポートセンター」の運営に、麒麟のまち圏域1市6町で共同で取り組んでいます。 上記のとおりスケールメリットを活かした取り組みを行っていることから、婚活サポート担当者を配置する予定はございません。

分類	該当頁	ご意見数	ご意見(要旨)	町の考え方
	-	1	若者への支援⇒婚活、結婚、出産、住居づくり(新築など)	婚活・結婚支援については上記のとおり事業を実施しています。 出産支援については、出産・子育て応援給付金の支給や特定不妊治療費の助成などを行っております。 また、新婚世帯が新築・中古住宅の購入・リフォームを実施する場合、若者世帯が実施する場合よりも金額を上乗せして助成を行っています。 〔新築〕 若者世帯 50万円(町内業者施工 60万円) 新婚世帯 70万円(町内業者施工 80万円) 〔中古住宅の購入〕 若者世帯 上限30万円 新婚世帯 上限60万円 〔リフォーム〕 若者世帯 上限15万円 新婚世帯 上限30万円
	-	1	暮らしやすいことをアピールし、鳥取市のベッドタウンとしての呼びかけで移住、転入をうながす	移住相談の際には、鳥取市とのアクセスが良好であり、生活しやすいことを説明しています。
	-	1	ここ数年移住者によるカフェ等のオープンにより地域活性化につながっていることをアピールし、移住者支援策をすすめる	移住相談を受ける中で、移住者による起業など、活性化に繋がっている事例を紹介しています。 なお、移住者から起業の相談があった際には、移住者に限った制度ではありませんが、創・開業支援による助成制度を案内しています。
	-	1	新たな観光コース(低山・城跡・農漁村風景・神社・果樹園など)を発掘する	町は観光協会と連携してアニメロケ参考地やサイクリングロード(うみなみロード)等の特色を活かした周遊マップやコース設定等に取り組んでいます。また、コンテンツ造成助成制度を観光事業者に活用していただき岩美ならではの観光メニューの開発をおこなっています。 引き続き、観光協会や観光事業者等と連携しながら、これまで観光地としてスポットが当たっていなかった部分にも目を向けながら、観光メニューのパッケージ化やコンテンツ造成等の支援に取り組めます。 また、山陰海岸ジオパーク圏域全体としましては麒麟のまち観光局、豊岡観光イノベーション、海の京都の3DMOそして山陰海岸ジオパーク推進協議会が圏域内の自治体や観光協会と連携して、山陰海岸ジオパークを中心に広く巡る観光周遊コースの造成に取り組んでいるところです。
	-	1	・昨年度より設置されている岩美町地球温暖化対策実行委員会の主旨、取組状況、方向性等の追記 ・新たに実施の100円バス運行の運用状況の評価コメント ・JR岩美駅の利用促進、賑わい創出について岩美町商工会が中心となって検討していることへのコメント	この総合戦略は人口減少対策に特化したものであるため、各取り組みについて詳細の記載はしていません。
	-	1	・町民や町内各企業で話題となるような、男女共同参画に関する啓発活動	
	-	1	鳥取城北日本語学校の外国人生徒に岩美町内への就職斡旋と定住化の促進をするなど、外国人の定住化。	年度毎に重点業績評価指標(KPI)の検証を行い、取り組むべき内容について必要な見直しを行う際に、ご提案頂いた施策も踏まえつつ、人口目標達成により効果的な施策を積極的に行っていきます。
	-	1	地元水産業、商工業などへ、新たに働き方改革・事業承継活動を行うことへの支援及び各種補助金の新設検討	

分類	該当頁	ご意見数	ご意見(要旨)	町の考え方
	—	1	活気ある岩美町施策について ①総合戦略の確実なる実践&町民参画と監視 PDCAサイクルの可視化、成果発表会とワークショップの開催 ②脱炭素社会に向けた活動と経済活動の相乗効果 公共交通の利用拡大(特に町職員の率先垂範)、岩美駅～太田工業団地へのシャトルバス、岩美駅前に飲食店創出 ③岩美駅前活性化 駅舎の有効活用、駅前商店街の復興、空き家利活用による情報発信、環境美化花壇設置イワツツ道路&歩行者天国、大型駐車場 ④岩美高校魅力向上化 岩美高校による地域課題に向けた地域連携活動の実践。岩美高校による地域課題解決の更なる展開で、岩美町の文化振興のキーマンとして運営 ⑤健康長寿の先進町への挑戦 各種健康診断の受診補助拡充で受診率大幅アップ&長寿化 ⑥町民の町政・議会への参画 地域活性化には当該地域の行政参画が必要不可欠。ワークショップの開催、女性活躍者の体験事例発表、日曜議会。 ⑦国県への提言 大きな施策は岩美町単独では困難。他の市町村と協働で国や県に提言する。	いただいたご意見のうち、岩美高校魅力化と健診受診率向上については「第11次岩美町総合計画」の基本方針に掲載しております。また、それ以外につきましては年度毎に重点業績評価指標(KPI)の検証を行い、取り組むべき内容について必要な見直しを行う際に、ご提案頂いた施策も踏まえつつ、人口目標達成により効果的な施策を積極的に行っていきます。